



**土屋 知紀**  
日本共産党  
(75分)

**降下ばいじんの成分分析と結果の公表を**

**問** 降下ばいじんの苦情について、現地調査の際の捕集、成分分析と結果の公表を求める。

**答** 本市では、1966年度から10地点で調査を開始し、現在、15地点で成分分析を含め、定点調査を行っている。大気環境測定



**高木 武志**  
日本共産党  
(75分)

**LGBT支援策は**

**問** 2020年の東京オリンピックが性的マイノリティーの人たちの人権と多様性の尊重を掲げ行われる最初の大会となる。①国に対し、LGBT差別禁止の立法化を求めること。②本市もパートナーシップ条例の制定を行うこと。

データは、環境白書やホームページで公表しており、年内には気象情報等に加え、月別のより詳細なデータを公表することとしている。

**再生可能エネルギーの利用促進を**

**問** 木質バイオマスエネルギー利活用のための検討会の創設と推進体制の構築を求める。

**答** 未利用の木質資源をエネルギー源として活用することは地球温暖化対策に有効である。第二次環境基本計画（素案）で木質バイオマス資源の利用方法を検討する。

**答** ①多岐にわたる相談内容に対応できる専門の相談窓口を設置すること。

**答** ①国において適切に判断されるものと考えている。

②啓発活動のさらなる推進や職員研修の充実、当事者の思いに寄り添った相談体制の構築など、当事者団体とも連携する中で、具体的な解決策を検討していく。  
③市と専門的人材や関係団体との連携による一体的な相談体制の構築が必要と考えており、安心して相談できる体制づくりに取り組む。



**平松 正人**  
誠友会  
(60分)

**リノベーションのまちづくりは**

**問** リノベーション1号案件の事業化は。

**答** 第1回リノベーションスクールの提案事業のうち、飲食店とゲストハウスを組み合わせた事業が伏見町でスタートした。フクビズと広島銀行が連携した駅前再生事業の融資制度適用の第1号で



**能宗 正洋**  
誠友会  
(45分)

**※グリーンスローモビリティ実証実験は**

**問** 鞆の浦と走島での実証実験の成果と課題は。

**答** 鞆の浦と走島では高齢化が進み、狭い道路や急な坂道が多く買い物や通院などの暮らしを支える移動手段や、高台にある観光名所への散策の移動支援といった地

もある。また、リノベーションの取り組みは民間事業者の自主的な取り組みを誘発しておりさらに面的に広がり中心市街地の魅力が高まることを期待している。

**避難行動要支援者避難支援プラン(個別計画)は**

**問** 個別計画の取り組みは。

**答** 計画は現在、58学区で作成され、制度内容を広報紙等で広く周知している。新たに防災リーダー連絡協議会と連携し庁内関係部局が一体となり地域に働きかける。地域課題がある。

こうした課題解決のため、小型の電動低速車を活用し、その有効性について実証実験を行った。実験期間中の2週間で、1071人という多くの方が利用されるなど、住民や観光客の利便性向上やにぎわいの創出に一定の効果があつたものと考えている。  
今後、本格運行に向けて、今年度中にアンケート調査結果の分析や検証を実施し、その後、地元住民や事業者と協議、検討を行っていく。

※グリーンスローモビリティ：電動で、時速20キロ未満で公道を走る4人乗り以上の乗り物。